

市立三次中央病院 第5回 CS 向上推進活動

サークル活動完了報告書

サークル名	TENKEN 隊		発表者	
			リーダー	割下 昌弘
部署	病院企画課		サブリーダー	
活動期間	開始：平成年月日		メンバー	病院企画課 職員
	終了：平成年月日			
会合状況	会合回数 _____ 回			
	1回あたりの会合時間 _____ 分			
所属長/推進メンバー	加藤 良二	所見欄		
レビュー担当者				

テーマ

今年は駐車場を TENKEN

テーマ選定理由

平成 23 年 7 月 1 日から、広島県思いやり駐車場制度が始まりました。駐車場の利用者同士が思いやりを持って身体障害者の方など必要な人が専用スペースを使えるようにするものです。この制度では、妊産婦やけが人等の回復が見込まれる人も対象となる点が、既存の制度との主な違いです。中央病院は現在、県北二次医療圏で唯一分娩可能な施設となったことに伴い、妊産婦が集まる環境にあり、この制度の有効な活用について検討しました。

現状把握

思いやり駐車場利用証の交付実績と、本院での利用状況を調査する。

目標設定

思いやり駐車場利用証のニーズがどの程度あるか測定する

要因解析

次の要因に分類し、解析した。

- ・制度の周知
- ・交付手続きの場所
- ・利用時の問題

対策立案

次の対策を立案した。

- ・駐車場の利用状況を確認する
- ・本院の駐車場の思いやり駐車場区画を拡充する
- ・玄関前でちらしを配り、広く周知する
- ・母親学級で制度を周知する
- ・試験的に出張交付を実施する
- ・どの程度のニーズがあるか測定する

対策実施

次の対策を実施した。

- ・駐車場の利用状況を確認する
- ・母親学級で制度を周知する
- ・試験的に利用証の出張交付を実施する
- ・どの程度のニーズがあるか測定する

効果確認

交付枚数により、制度利用のニーズを測定する

標準化

効果の程度により、今後、出張交付もしくは情報の提供を行う

まとめと今後の課題

広島県思いやり駐車場制度が、病院という施設になじむかどうか確認することができた。今後は、駐車場の利用に関して、駐車場ボランティア等のより効果的な手法の検討が必要